

外用殺菌消毒剤

日本標準商品分類番号：872619

薬価基準収載

滅菌製剤

エルエイジー 0.05液 0.1液
0.2液 0.5液

エルエイジー10液

アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩製剤



ヨシダ製薬

エルエイジー液



手指・皮膚



手術部位の皮膚



手術部位(手術野)の粘膜



皮膚の創傷部位



粘膜の創傷部位



医療機器



手術室・病室・家具・器具・物品

アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩製剤

特 徴

- 陽イオンと陰イオンを持つ両性界面活性剤で殺菌力と洗浄力の両作用を有します。
- 使用目的に対応できる実用濃度液が揃っています。*
- 他の消毒剤に比べ、血液等の有機物による効力低下は少ないです。
- 希釈ミスがなく正しい濃度で使用できます。*
- 皮膚・粘膜に対して刺激性が少ないです。
- 製剤業務の省力化が可能です。*
- 容器は減容して廃棄できます。(500mL)
- 実用濃度液は滅菌製剤です。*
- 0.2~0.5%実用濃度液で結核菌にも有効です。

※実用濃度の特徴です。

有 効 性

各種細菌・真菌に対する殺菌効果【欧州標準法(EN1276、EN1650)】

エルエイジー10液について、滅菌精製水を用いて作用時に実用濃度(0.05%、0.1%、0.2%、0.5%)となるよう希釈し、各条件下(清潔時・汚染時)において20℃で欧州標準試験法(EN1276、EN1650)を準用し試験した。その結果、エルエイジー製品は黄色ブドウ球菌、腸球菌(*Enterococcus hirae*)、緑膿菌、大腸菌に対して1分の作用で、カンジダに対して清潔時1分の作用で、また汚染時も0.1%以上の濃度において1分の作用で各添加菌数をほぼ検出限界以下に低下させる十分な殺菌効果が認められた。

供 試 菌 株	アルキルジアミノエチル グリシン塩酸塩濃度(%)	対数減少値(LRV)		
		清潔時	汚染時	
		1分	1分	5分
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC6538	0.05%	>5	>5	>5
	0.1%	>5	>5	>5
	0.2%	>5	>5	>5
	0.5%	>5	>5	>5
<i>Enterococcus hirae</i> ATCC10541	0.05%	>5	>5	>5
	0.1%	>5	>5	>5
	0.2%	>5	>5	>5
	0.5%	>5	>5	>5
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC15442	0.05%	>5	>5	>5
	0.1%	>5	>5	>5
	0.2%	>5	>5	>5
	0.5%	>5	>5	>5
<i>Escherichia coli</i> ATCC10536	0.05%	>5	>5	>5
	0.1%	>5	>5	>5
	0.2%	>5	>5	>5
	0.5%	>5	>5	>5
<i>Candida albicans</i> ATCC10231	0.05%	>4	1.2	3.9
	0.1%	>4	3.3	>4
	0.2%	>4	>4	>4
	0.5%	>4	>4	>4

>4 : LRV4以上(滅菌率99.99%以上) >5 : LRV5以上(滅菌率99.999%以上)

(結果は複数回試験を実施した平均値です)

結核菌に対する殺菌効果

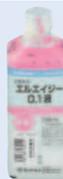
エルエイジー10液について、滅菌精製水を用いて実用濃度(0.05%、0.1%、0.2%、0.5%)となるよう希釈し、血清非存在下および血清30%共存下室温でフェノール係数測定法に準じて試験した。その結果を以下に示す。

供試菌株	Mycobacterium tuberculosis H ₃₇ Rv														
	血清の有無						血清30%								
	血清無添加					殺菌時間(分)	血清30%					殺菌時間(分)			
有効成分濃度	作用時間(分)						作用時間(分)								
	2.5	5	10	15	30	2.5	5	10	15	30	2.5	5	10	15	30
0.05%	+	+	+	+	+	>30	+	+	+	+	+	+	+	+	>30
0.1%	+	+	-	-	-	10	+	+	+	+	-	-	-	-	30
0.2%	+	-	-	-	-	5	+	+	+	-	-	-	-	-	15
0.5%	-	-	-	-	-	2.5	+	+	-	-	-	-	-	-	10
1%	-	-	-	-	-	<2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5

+:発育を認める -:発育を認めない

使用方法

生体

対象部位	濃度 (アルキルジアミノエチルグリシン塩として)	エルエイジー10液		適用製剤			
		希釈倍数	全量1L調製時	0.05%	0.1%	0.2%	0.5%
 手指・皮膚	0.05~0.2%	200倍~ 50倍	5mL~ 20mL				
 手術部位(手術野)の皮膚	0.1%で洗浄後 0.2%塗布	100倍、 50倍	10mL、 20mL				
 手術部位(手術野)の粘膜※  皮膚・粘膜の創傷部位※	0.01~0.05%	1000倍~ 200倍	1mL~ 5mL				

※創傷部位及び粘膜に使用する希釈水溶液は、調製後必ず滅菌処理すること

器具および環境

対象	濃度 (アルキルジアミノエチルグリシン塩として)	エルエイジー10液		適用製剤			
		希釈倍数	全量1L調製時	0.05%	0.1%	0.2%	0.5%
 医療機器 手術室・病室・家具・器具・物品など	0.05~0.2%	200倍~ 50倍	5mL~ 20mL				
 結核領域における 医療機器・手術室・病室・家具・器具・物品など	0.2~0.5%	50倍~ 20倍	20mL~ 50mL				

注意：濃度に注意してご使用ください。

滅菌製剤

エルエイジー0.05液

LAG-0.05 Solution

滅菌製剤

エルエイジー0.1液

LAG-0.1 Solution

滅菌製剤

エルエイジー0.2液

LAG-0.2 Solution

滅菌製剤

エルエイジー0.5液

LAG-0.5 Solution

エルエイジー10液

LAG-10 Solution

●アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩製剤

貯法: 遮光した気密容器、室温保存
使用期限: 3年(ラベルに記載)

	エルエイジー0.05液	エルエイジー0.1液	エルエイジー0.2液	エルエイジー0.5液	エルエイジー10液
日本標準商品分類番号	872619				
承認番号	21000AMZ00501000	21000AMZ00502000	21000AMZ00503000	21000AMZ00504000	(02AM)0237
薬価収載	1998年7月	1998年7月	1998年7月	1998年7月	1990年4月
販売開始	1998年4月	1998年4月	1998年4月	1998年4月	1990年4月
再評価結果	1982年8月	1982年8月	1982年8月	1982年8月	1982年8月

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等の改訂にご留意下さい。

組成・性状

1. 組成

エルエイジー0.05液: アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩0.05W/v%を含有する。
エルエイジー0.1液: アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩0.1W/v%を含有する。
エルエイジー0.2液: アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩0.2W/v%を含有する。
エルエイジー0.5液: アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩0.5W/v%を含有する。
エルエイジー10液: 本剤は、アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩(RNHCH₂CH₂NHCH₂CH₂NHCH₂COOH・HCl)として9.0~11.0W/v%を含有する水溶液である。添加物としてpH調整剤を含む。

2. 製剤の性状

0.05%、0.1%、0.2%、0.5%: 無色~微黄色澄明の液で、わずかに特異なおいがある。比重d₄²⁰: 約1.00 pH: 7.0~9.0
10%: 本剤は帯黄色の粘性な液で、わずかに特異なおいがある。比重d₄²⁰: 約1.01 pH(1→10): 7~9

効能・効果及び用法・用量

アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩として下記の濃度になるように水で希釈して、次のように使用する。

効能・効果	用法・用量	希釈倍数				
		0.05%	0.1%	0.2%	0.5%	10%
医療機器の消毒	0.05%: 0.05%溶液に10~15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。 0.1%: 0.05~0.1%溶液に10~15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。 0.2%、0.5%、10%: 0.05~0.2%溶液に10~15分間浸漬する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2~0.5%溶液を用いる(0.5%、10%)。0.2%溶液を用いる(0.2%)。	原液	原液~2倍	原液~4倍(結核領域: 原液)	2.5~10倍(結核領域: 原液~2.5倍)	50~200倍(結核領域: 20~50倍)
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05%: 0.05%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。 0.1%: 0.05~0.1%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。 0.2%、0.5%、10%: 0.05~0.2%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2~0.5%溶液を用いる(0.5%、10%)。0.2%溶液を用いる(0.2%)。	原液	原液~2倍	原液~4倍(結核領域: 原液)	2.5~10倍(結核領域: 原液~2.5倍)	50~200倍(結核領域: 20~50倍)
手指・皮膚の消毒	0.05%: 0.05%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。 0.1%: 0.05~0.1%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。 0.2%、0.5%、10%: 0.05~0.2%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。	原液	原液~2倍	原液~4倍	2.5~10倍	50~200倍
手術部位(手術野)の皮膚の消毒	0.2%、0.5%、10%: 0.1%溶液で約5分間洗った後、0.2%溶液を塗布する。			2倍、原液	5倍、2.5倍	100倍、50倍
手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01~0.05%溶液を用いる。	原液~5倍	2~10倍	4~20倍	10~50倍	200~1,000倍

使用上の注意

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	0.1~5%未満
過敏症 ^{注)}	発疹、痒疹感等

注) 症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。

3. 適用上の注意

(1) 人体

1) 使用時

ア. 外用にのみ使用すること。

イ. 原液又は濃厚液が眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。

ウ. 散布消毒の場合はマスクを着用するなど注意すること。

エ. 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので注意すること。

オ. 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。

カ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。

2) 調整時

深い創傷に使用する場合は希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

(2) その他

使用時: 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。

(3) 緊急措置

1) 眼に入った場合

10%: 洗浄の際、眼球、顔のすみずみまで水がよく行きわたるように、清浄な水で15分以上眼を洗浄した後、直ちに適切な処置を行うこと。

2) 飲み込んだ場合

水でよく口を洗い、水又は牛乳を飲ませ(無理に吐き出させない)、直ちに適切な処置を行うこと。

薬効薬理

1. 10%: 界面活性剤の殺菌作用は、菌の外膜である細胞壁を破壊してタンパク質を変質させる作用によるものであるが、両性界面活性剤の殺菌作用は比較的強く、陽イオン・陰イオン・非イオン性界面活性剤や金属イオンが共存しても逆性石ケンのように不活化されることがない。また陽イオン界面活性剤が無効である結核菌などの抗菌剤に対しては殺菌力を示す。また、血清タンパク存在下でも殺菌力低下の影響を受けにくい。

2. 0.05%、0.1%、0.2%、0.5%: アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩はグラム陽性菌、陰性菌及び真菌さらに結核菌にも有効であるが、大部分のウイルスに対する効果は期待できない。陽イオン界面活性剤と比較して、有機物や金属イオン存在下での効力低下が少ない。

取扱上の注意

1. 次の医薬品等が混入すると沈殿を生ずるので注意すること。

ヨードチンキ、マーキュロクロム、硝酸銀、プロテイン銀、フェノール、過酸化水素、過マンガン酸カリウム、タンニン酸、スルホサリチル酸、スルホサリチル酸ナトリウム、重クロム酸カリウム等。

2. 0.1%、0.2%、0.5%、10%: 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐食を防止するため0.1~0.5%の割合で亜硝酸ナトリウムを溶解すること。

0.05%: 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐食を防止するため0.1%の割合で亜硝酸ナトリウムを溶解すること。

3. 0.05%、0.1%、0.2%、0.5%: 開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。

包装

エルエイジー0.05液: 500mL(減容ポリ)
エルエイジー0.1液: 500mL(減容ポリ)
エルエイジー0.2液: 500mL(減容ポリ)、1L
エルエイジー0.5液: 500mL(減容ポリ)
エルエイジー10液: 500mL(減容ポリ)、3L、5L、10L、18L

2011年9月作成



ヨシダ製薬

製造販売元

吉田製薬株式会社

埼玉県狭山市南入曾951

Y's Square http://www.yoshida-pharm.com/

資料請求先

吉田製薬株式会社
東京都中央区中央5-1-10
Tel: 03-3381-2004

③1109KK
400015